



熊本第一信用金庫本店外観

地元中小企業の震災復興に力を注ぐ熊本第一信用金庫。
グループ補助金申請では自らグループの代表となり申請を後押しするなど、
地元企業に寄り添う姿が取引先から高い評価を得ている。

熊本第一信用金庫

顧客ニーズに対応した 商品、サービスの開発を目指す



阿蘇の自然保護を支援する阿蘇草原再生定期預金



順位に応じて金利がアップするロアツソ熊本応援定期



取引先の子弟を対象とした婚活イベント「めぐり逢いパーティー」



profile

豊住 賢一 理事長

とよすみ けんいち／熊本市出身、1952(昭和27)年4月8日生まれ、65歳。九州大学工学部卒。77年入庫、2000年人事研修部長、03年理事人事研修部担当、05年同本店営業部長、06年同業務推進部担当、07年常務理事、08年6月理事長就任。趣味はドライブ、カメラ

一刻も早い国道57号の復旧を

「震災から1年余りが経過し、ようやく復興も本格化してきた」と語る豊住賢一熊本第一信用金庫理事長。グループ補助金のグループ代表者として、グループ補助金申請の支援を行うなど、被災した地元企業に寄り添う姿は取引先からも高い評価を得ている。

また阿蘇地域の大規模な被災は、地元の主要産業である観光事業への影響が大きいことから、「主要な観光ルートである国道57号の一刻も早い復旧を期待したい」と話す。

中心部再開発、駅周辺開発に期待

第67期通常総代会の冒頭で豊住理事長は「熊本地震被害の復旧・復興は始まったばかり。官民挙げて一歩ずつ歩みを進めている状況。熊本市中心部の再開発や熊本駅ビル建設、熊本駅周辺の在来線高架化事業など活気ある事業も進んでいる」と、地元経済の今後に期待をにじませる。

2016年度決算は 2期連続で減収増益に

熊本第一信用金庫の2017年3月期決算は、経常収益が前期比15.1%減の51億100万円、経常利益は同32%増の6億6800万円で2期連続の減収増益となった。

6月16日に開かれた第67期(2016

年度)総代会で報告したもの。本業のものを示すコア業務純益は前期比19.1%減の11億4800万円。金融機関の競合激化と低金利の影響から貸出金利息、有価証券利息配当金が減少したため収益が減少した。費用面は、預金利息、一般貸倒引当金、経費削減などにより業務費用が減少した。会員数は同0.34%増の2万3,022人、出資金は同0.003%増の36億3,900万円。貸出金は熊本地震による復興融資などを積極的に推進した結果、期末残高は1,526億円で同1.37%増、期中平残は同0.38%増の1,502億7,200万円。預金・積金は、期末残高が同1.12%増の2,695億円、期中平残は同3.83%増の2,754億4,400万円となった。

独自性を打ち出したサービスを提供

「例年にない好調な滑り出しで業績が推移している」と話す豊住理事長。今後の課題としては、貸出金利を適正化しつつ、いかに収益構造を築いていくかについて、各営業店毎で取り組んでいるという。また当分低金利が続くことが予想される中、取引先、事業支援などサービスの充実に努めるという。そうしたサービスを支える上でも人材育成が今後の課題だとする。「これからは低金利でのアピールだけでは大手行に太刀打ちできない。顧客のニーズに対応したサービスを展開するためのリサーチ力の強化や、事業性の評価ができる人材

の育成が急がれるところです。また1昨年から実施している、取引先の子弟を対象とした婚活パーティーなど、地域や取引先との結びつきの深い当金庫ならではの独自性が生かせる企画を打ち出していきたい」。

南区南高江1丁目に 刈草支店を移転オープン

同金庫では6月26日、熊本市南区刈草1丁目の刈草支店を、同市南区南高江1丁目に移転オープンした。昨年の熊本地震により旧店舗が被災したため、同地国道3号沿い、熊本ヤクルト(株)隣に移転オープンしたもの。新店舗は鉄骨造平屋建てで、敷地面積約521㎡、床面積は約199㎡。駐車台数は6台、スタッフ数は9人。熊本市南部が主な営業エリアとなる。同金庫では「昨年の震災を踏まえ、各種災害に強い構造を採用した」と話している。

DATA

所在地	〒860-8681 熊本市中央区花畑町10-29
T E L	096-355-6111
設立	1950(昭和25)年8月1日
出資金	36億3,900万円
代表理事会長	森本 孝
代表理事専務	豊住 賢一
代表理事専務	鴻池 卓児
代表理事常務	渡邊 祐一
常勤理事	東 信治、荒尾 俊比古、石田 誠也
常勤監事	古閑 健一
役員員数	269人
U R L	http://www.daiichishinkin.co.jp
店舗数	24店舗(平成29年6月末現在)